http://k-poracon.co.jp/

EUシリーズの特徴

1底面に大きな開口があります。

雨水を速やかに浸透させるために、横梁式で底面に大きな開口を設けた構造です。

2 フルオープンな構造です。

上部がフルオープンな構造で開口幅は300~500mmまであるため、施工性・メンテナンス性に優れています。また、グレーチング蓋のボルト固定にも対応しています。

3 中型車両に対応して構造です。

中型車両(T-14)に対応した構造なので、一般車両・中型車両用駐車場や道路、公園等、さまざまな場所での使用が可能になりました。

4 貯留・浸透能力があります。

EUシリーズは最大サイズで1m当り約0.57㎡の貯留能力があり、砂質土程度の地盤の場合、最大サイズで1時間当り約0.56㎡の浸透能力を発揮します。

共通の特徴

1 大きな浸透面で雨水を処理します。

仮に施設内への土砂やゴミの流入が防げず、底面にゴミが堆積し浸透機能が低下しても、 浸透ポラコン製品は雨水を側面全体から浸透させていくため、長期にわたり浸透機能を維 持することができます。

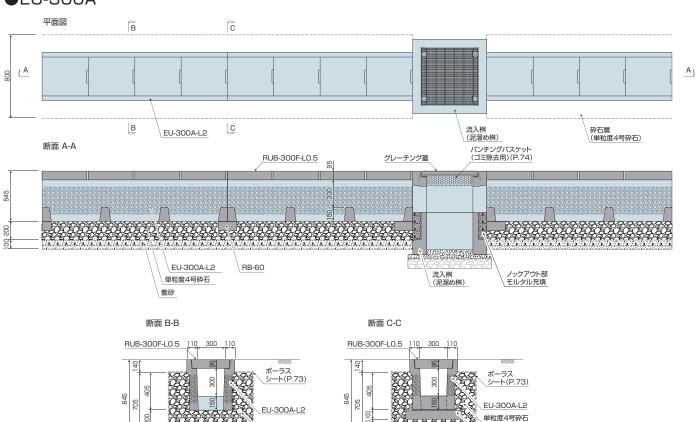
2 目詰まりしにくい構造です。

当社の製品は一般的に用いられている孔あきに代わり、ゴミが集中しにくい(無数の孔が配置されている)ポーラスコンクリート製ですので、ゴミが孔に集中せず、浸透を妨げる目詰まりを 極限まで防いでいます。

EUシリーズ

参考施工断面図 単位 ㎜

●EU-300A



RB-60

敷砂

単粒度4号砕石

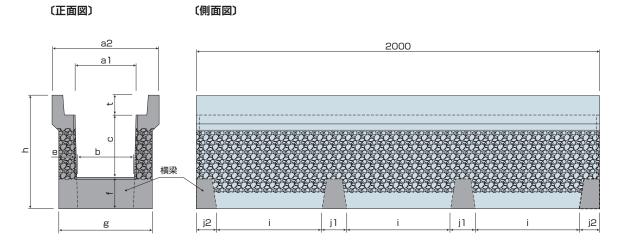
敷砂

EUシリーズ

製品図 単位 脈

※蓋はP.123をご参照下さい

●EU(全面浸透)



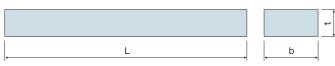
呼び名	寸 法(mm)							横梁数	参考質量					
	al	a2	b	С	t	е	f	g	h	i	j1	j2	(本)	(kg)
EU-250-L2	250	460	230	250	90	80	150	390	490	825	130	110	3	340
EU-300A-L2	300	520	280	300	95	90	150	460	545	520	120	100	4	428
EU-300B-L2	300	520	270	400	95	90	150	450	645	493	140	120	4	495
EU-300C-L2	300	520	260	500	95	100	150	460	745	348	130	110	5	589
EU-400A-L2	400	630	370	400	110	90	200	550	710	825	130	110	3	554
EU-400B-L2	400	630	360	500	110	100	200	560	810	810	140	120	3	665
EU-500A-L2	500	750	460	500	125	100	200	660	825	520	120	100	4	711
EU-500B-L2	500	750	450	600	125	110	200	670	925	371	105	100	5	860

ボルト固定に対応したグレーチング蓋もご用意いたします。

側溝本体の蓋掛け部にZ型のグレーチング受枠を取り付けることで、グレーチング蓋がボルト固定となり、車両通行時のガタツキや騒音を防止します。 また、側溝天端部分はグレーチング受枠で覆われていますので、カド欠け防止の効果もあります。

●RB受台

(正面図) (側面図)



呼び名	適応側溝(EU)製品名	寸	法(r	nm)	参考質量
げい石	週心则得(CU) 表吅石	b	t	L	(kg)
RB-60	250·300A·300B·300C	200	100	600	29
RB-75	400A·400B	200	100	750	36
RB-85	500A·500B	200	100	850	40



EUシリーズ

単位設計処理量

●土質別単位設計処理量一覧表

EU-250~500B

シルト	土の透水係数 k=4.50×10 ⁻⁴ c	cm/sec		
施設名	浸透施設規模 幅W×高さH(m)	単位設計浸透量 Q(m³/hr/m)	単位設計貯留量 V(㎡/m)	単位設計処理量 Qv=Q+V(m³/hr/m) **
EU-250	W0.80×H0.670	0.049	0.192	0.241
EU-300A	W0.90×H0.705	0.053	0.242	0.295
EU-300B	W0.90×H0.805	0.057	0.288	0.345
EU-300C	W0.90×H0.905	0.061	0.333	0.394
EU-400A	W1.00×H0.870	0.061	0.360	0.421
EU-400B	W1.00×H0.970	0.065	0.416	0.481
EU-500A	W1.20×H0.970	0.069	0.507	0.576
EU-500B	W1.20×H1.050	0.072	0.570	0.642

微細砂	土の透水係数 k=3.50×10 ⁻³ c	cm/sec		
施設名	浸透施設規模 幅W×高さH(m)	単位設計浸透量 Q(m³/hr/m)	単位設計貯留量 V(㎡/m)	単位設計処理量 Qv=Q+V(m³/hr/m)*
EU-250	W0.80×H0.670	0.390	0.192	0.582
EU-300A	W0.90×H0.705	0.415	0.242	0.657
EU-300B	W0.90×H0.805	0.446	0.288	0.734
EU-300C	W0.90×H0.905	0.478	0.333	0.811
EU-400A	W1.00×H0.870	0.480	0.360	0.840
EU-400B	W1.00×H0.970	0.512	0.416	0.928
EU-500A	W1.20×H0.970	0.539	0.507	1.046
EU-500B	W1.20×H1.050	0.565	0.570	1.135

細砂	土の透水係数 k=1.50×10 ⁻² cm/sec						
施設名	浸透施設規模 幅W×高さH(m)	単位設計浸透量 Q(m³/hr/m)	単位設計貯留量 V(㎡/m)	単位設計処理量 Qv=Q+V(m³/hr/m) *			
EU-250	W0.80×H0.670	1.671	0.192	1.863			
EU-300A	W0.90×H0.705	1.778	0.242	2.020			
EU-300B	W0.90×H0.805	1.912	0.288	2.200			
EU-300C	W0.90×H0.905	2.048	0.333	2.381			
EU-400A	W1.00×H0.870	2.059	0.360	2.419			
EU-400B	W1.00×H0.970	2.194	0.416	2.610			
EU-500A	W1.20×H0.970	2.312	0.507	2.819			
EU-500B	W1.20×H1.050	2.420	0.570	2.990			

中砂	土の透水係数 k=8.50×10 ⁻² cm/sec						
施設名	浸透施設規模 幅W×高さH(m)	単位設計浸透量 Q(m³/hr/m)	単位設計貯留量 V(㎡/m)	単位設計処理量 Qv=Q+V(m³/hr/m) _※			
EU-250	W0.80×H0.670	9.471	0.192	9.663			
EU-300A	W0.90×H0.705	10.073	0.242	10.315			
EU-300B	W0.90×H0.805	10.839	0.288	11.127			
EU-300C	W0.90×H0.905	11.605	0.333	11.938			
EU-400A	W1.00×H0.870	11.669	0.360	12.029			
EU-400B	W1.00×H0.970	12.435	0.416	12.851			
EU-500A	W1.20×H0.970	13.099	0.507	13.606			
EU-500B	W1.20×H1.050	13.714	0.570	14.284			

※単位設計処理量は1時間における処理量です。





http://k-poracon.co.jp/



●EU-300A 単位設計処理量の計算事例(P.119構造図参照)

[設置施設の構造・条件]

設置施設の置換材幅 W= 0.90m 浸透側溝内幅 b1= 0.297m 設置施設の置換材高 H= 0.705m 浸透側溝内幅 b2= 0.280m h = 0.255 m砕石層の高さ H1= 0.605m 浸透側溝内高

砂層の高さ H2= 0.1m 単位長さ L= 1.0m

設置施設の平均空隙率 p= 0.3(30%)

土の飽和透水係数 Ko= 3.5×10⁻³cm/sec = 0.126m/hr(微細砂として仮定)

(1)設置施設の比浸透量(Kf)の算定

Kf = aH + b $= 4.064 \text{m}^2$

ここで係数、

= 3.093

b = 1.34W + 0.677= 1.883

よって、比浸透量= 4.064m²

(2)設置施設の基準浸透量(Qf)の算定

 $Qf = Ko \times Kf$

 $= 0.126 \times 4.064$

よって、基準浸透量= 0.512m³/hr/m

(3)単位設計浸透量(Q)の算定

 $Q = C1 \cdot C2 \cdot Qf$

 $= 0.9 \times 0.9 \times 0.512$

 $= 0.415 \,\mathrm{m}^3/\mathrm{hr/m}$

C1= 0.9(地下水の影響による低減係数)

C2= 0.9(目詰まりの影響による低減係数)

(4)単位貯留量(V)の算定

V = V1 + V2 + V3 $= 0.242 \text{m}^3/\text{m}$

> $V1 = \frac{(b1+b2) \cdot h}{}$ = 0.074m³/m (側溝の内空容量)

V2=(W·H1·L-V1)·p = 0.141㎡/m (砕石層の空隙容量) = 0.027m³/m (砂層の空隙容量) V3=W·H2·L·p

(5)単位設計処理量(Qv)の算定

 $\therefore QV = Q+V$

= 0.415 + 0.242

よって、設計処理量 = 0.657m³/hr/m となります。

施 I

●P.107浸透ポラコン側溝の施工手順をご参照ください。

歩 I 施

(10mあたり)

製品名	製品質量(kg/本)	世話役(人)	特殊作業員(人)	普通作業員(人)	トラッククレーン(日)
EU-250-L2	340				
EU-300A-L2	428				
EU-300B-L2	495	0.3	0.2	0.6	0.3
EU-300C-L2	589	0.3			0.3
EU-400A-L2	554				
EU-400B-L2	665				
EU-500A-L2	711	0.6	0.4	1.2	0.3
EU-500B-L2	860	0.6	0.4	1.2	0.5

⁽注) 1.歩掛は、運搬距離30m程度までの現場内小運搬を含みますが、床掘り、埋戻し、残土処理および砕石層、砂層の材工は含んでおりません。 2.諸維養(コンクリートカッター運転経費、目地モルタル、側満損失分の費用、カッターブレードの損耗費)は労務費及び機械運転経費の合計に17%を乗じた金額を上限として計上してください。 3.透水シートの敷設は普通作業員0.25人/100㎡を加算願います。

浸透ポラコン側溝

122